

応用物理学会事務局から見た学会運営、会員との関わり

Operation of JSAP and relationship with members

from the perspective of JSAP secretariat

応物事務局 ○塩尻 誠子, ○白石 陽子

JSAP Secretariat, ○Tomoko Shiojiri, ○Yoko Shiraishi

E-mail: membership@jsap.or.jp

1. はじめに

応物事務局では、21名の職員が2万人を超える会員の皆様の活動を支援し、英文論文誌APEX/JJAPや機関誌『応用物理』の発行、学術講演会の開催など様々な事業を行っています。

図1に示すように、151名の代議員からなる総会や、27名の理事からなる理事会、合計100名を超える委員からなる各種委員会など、目的ごとに設置された組織で構成された応物は、たくさんの会員によって運営されています。

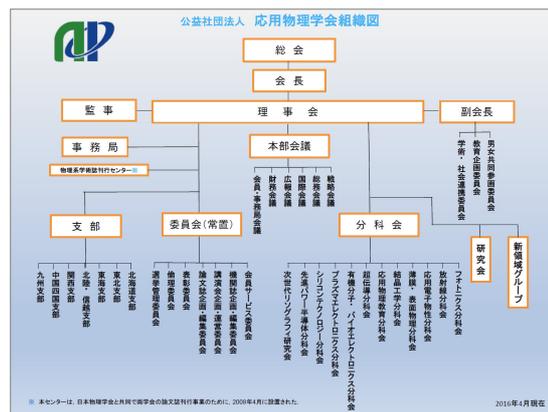


図1 応用物理学会組織図

2. 応物のダイバーシティ

応物の会員、役員、事務局のダイバーシティを比較した結果を、表1に示しました。会員、役員、事務局の女性比率・外国人比率は10%未満と低水準にあります。一方、会員の代表である代議員のそれは相対的に高く、ここ数年で上昇しました。これは、学会運営に多様な意見を反映させるべく様々な属性から候補者推薦を募る戦略の成果です。また、事務局の女性比率は40%超と高い反面、外国人比率は0%と国際化の観点では遅れています。

表1 応物の会員、役員、事務局のダイバーシティ比較

	会員		役員		事務局
	全体	代議員*	会長・副会長	理事	職員
女性比率	6%	12%	0%	7%	43%
外国人比率	3%	5%	0%	4%	0%
平均年齢	43歳	49歳	63歳	56歳	43歳

*概ね正会員200人の中から1人の割合をもって選出される法律上の社員

3. 応物のさらなる発展に向けた事務局職員からの提案

本シンポジウムを主催する応物男女共同参画委員会では、図2に示したキャリアエクスプローラーマーク（CEマーク）など、先駆的な活動を行ってきました。学術講演会における事務局職員の講演も、応物では今回が初めての試みです。

応物のダイバーシティの一翼を担う若手女性職員から、応物のさらなる発展に向けた提案を行います。詳細は講演にて。



図2 CEマーク